

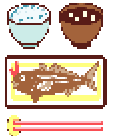



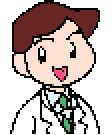


経尿道的前立腺切除術を受けられるID: 様へ

パスコード:13003-02 世代:3

発行日:1900/01/00

経過	入院(手術前日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2~5日目	術後6日目	退院後の診察
月日	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	退院日(月日)	(月日)
達成目標	手術に必要な処置を受ける事ができる 手術に必要な前準備が理解でき、守ることができる	不安なく落ち着いて手術を受けることができる	安静を守ることが出来る 痛みや気分の悪さを我慢せず伝えることができる	安静解除後 看護師と共にしっかりと歩くことができる 尿バッグの管理ができる	尿管の管が抜去できる カテーテル抜去後、自尿がある	退院おめでとう ございます 退院することができる	療養生活が継続 できる 後出血をおこさない
治療・処置・検査・薬剤(点滴)	持参薬の確認をします。 中止指示のあるお薬を飲んでいないか確認します。 採血 検尿 心電図 レントゲン (外来で検査が終了していれば必要無いです。)	*手術日時: 年 月 日(曜) 時 分 の予定です。 指示された薬のみ少量の水で飲んで下さい。	点滴・尿管が入ってきます。 フットポンプがつきます。  持参のお薬の内服を再開します。 (抗血栓薬以外です。 抗血栓薬の再開は尿の出血の状態を見ながら主治医が決定します。) 詳しくは当日看護師より説明があります。	昼食5割以上摂取できていれば点滴の針を抜きます。 採血	尿管を抜いた後、最初の自尿は看護師に見せてください。 (簡単な残尿エコーの検査をします)	退院後注意する事や症状が何であるか理解できる	
安静度	特に制限はありません		翌日の朝までは基本ベッド上安静です。 背もたれは術後3時間後より起こすことができますが、必ず看護師に確認してからいただきますので、それまでは控えて下さい	翌朝の状態に問題がなければ看護師が見守りをしふらつきなく歩けるか確認をします。 それ以降は制限はありません。 	特に制限はありません		
食事	特に制限はありません 	飲水可能時間 手術時間で違います 08:45 - 12:59... 6時まで飲水可 13:00 - 16:00... 10時まで飲水可 16:00... 13時まで飲水可 手術時間は看護師から説明があります 当日朝から絶食です。	水分・食事の時間は看護師より説明があります。 (基本、水分は病室に戻って3時間後、食事は翌日の朝からとなりますが変更となる場合があります)	朝食より食事が再開となります。 ベッド上での食事となります。	特に制限はありません		
清潔	お風呂に入り体を清潔にします。 主治医の指示がある場合は切毛をします。	手術当日は控えて下さい		体拭きをします。 陰部を洗浄します。 	術後2日目からシャワー浴ができます。 尿管が抜けたら入浴しても大丈夫です。 		
排泄	尿の色を確認します。 尿量の測定・記録をして下さい。		手術中に尿管が入ります。 帰室後3時間がたてば排便時のみ車椅子でトイレに行けます。ナースコール下さい。	尿管のバッグは手提げ袋に入れます。	尿管が抜けるのは術後3-7日目です (尿の色や量、検査で主治医が判断します。) 尿管が抜けた後は、尿量の記載を再開してください。		
患者様及びご家族への説明	手術室看護師の訪問があります。 麻酔科の医師による診察・麻酔に関する説明があります。 お名前確認のためネームバンドを付けます。 看護師より手術までの流れに関する説明と必要物品の確認をさせていただきます。 以下の物をご用意ください。 ・ビニール袋2枚(靴と寝衣を入れます) ・テープ式の紙おむつ1~2枚 ・吸い飲み、又は先の曲がるストロー、コップ 主治医より入院・治療について説明があります。 入院・退院について心配があれば相談して下さい。	必要物品はベッドの上にとめておいて下さい。 寝間が汚れていなければ、着替えはせず、排尿をすませてお待ち下さい。 コンタクトレンズ・腕時計・指輪・ヘアピン・かつら・入れ歯・アクセサリ等は外して下さい。 手術室で術衣に着替えてから入室します。 貴重品は必ず家族の方へお預け下さい。 弾性ストッキングをはいていただきます。 *ご家族の方にはポケベルをお渡しします。 *ご家族の方は2階の「家族待合室」または病室でお待ち下さい。	麻酔から醒めてきたら、足の感覚が戻ってきます。 それと同時に尿管の違和感や痛みなど尿管の刺激を感じる場合があります。 その際は遠慮せずナースコールを押しして下さい。 痛みを和らげるお薬を使います。	尿管のバッグは腰より低い位置で持って下さい。 管をひっぱたりしないよう気をつけて下さい。 点滴がなくなるので水分をしっかりと取って下さい。 便秘気味でしたら、医師・看護師にご相談ください。 	管を抜いた後の最初の尿は、看護師に見せるようにして下さい。 残尿感があれば、おしっこが膀胱に残っていないか、簡単な検査をします。 退院について不安・質問などあれば、遠慮なく医師・看護師にお申し付け下さい。 	退院後の療養生活上の留意点 出血を予防する為次の事に注意して下さい ・熱いお風呂(40度以上)に長時間(2-30分)入らない。 ・激しい運動は控えて下さい。 ・水分摂取を心がけて下さい。 ・患部への圧迫を避けるようにして下さい。 ・飲酒は主治医の許可があるまでやめて下さい。 ・排便時、怒責をかけないようにして下さい。 ・自転車は退院後2週間は控えて下さい。 上記のことは次回外来まで注意し、次回外来時に主治医にご確認ください。 尿の色や出具合を気にするようにして下さい ・尿に酷く血が混じった、尿が出ない等あれば外来受診して下さい。	

注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。
主治医。